

新春に寄せて

八代市長 坂田孝志



輝かしい初春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年、1市2町3村が合併し、人口14万人、面積680平方キロメートルを有する県南最大の都市が誕生しました。これから新たな「八代市」としての真価を発揮していかねければなりません。

本市は、豊かな自然に恵まれており、その自然に育まれた歴史と文化と伝統があり、それぞれのまちの個性を活かしながら、観光の振興や地域経済の活性化を図り、若者や子供たちが未来に希望を持てる魅力あるまちにしたいと考えております。

さて、本格的な人口減少・超高齢化社会の中、国では「三位一体」の改革、国・地方の行財政改革の徹底を進めており、地方自治体には、これまでにな行財政改革の積極的な取り組みと効率的かつ自主的な運営が求められております。行政も最大限の努力と新たな発想によって、この変革に対応し、市民の皆様が、「合併してよかった」と思える新しいまちの実現のために積極的に取り組んでまいります。

皆様には、本年も市政に対しまして変わらぬご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げますとともに、新しい年が夢と希望に満ちあふれたものとなりますことを心よりお祈りしながら、年頭のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

八代市議会議長 山本幸廣



謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと存じます。

さて、昨年は、長年の懸案となっておりました市町村合併がかない、人口14万人の八代市が誕生し、新たな一歩を踏み出した年となりました。

今日、新市が発足して5カ月が経ちましたが、私たち地方自治体を取り巻く環境は、三位一体改革の遅れや緩やかな景気回復など、まだまだ厳しい状況にある一方で、市政においては財政課題や各地域の振興策、雇用確保対策等、難問が山積しております。

私ども市議会は、大切な一票に込められた皆様の願いを忘れることなく、全議員が一致団結し、課題解決に向けて精いっぱい取り組み、市民の皆様が安心して心豊かに暮らせる八代市を建設してまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様と本市にとりまして、着実な発展の年とならんことをお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。

